

第5章 県政への自由意見

1 自由意見の政策課題別件数

「身近な地域や秋田がこうあって欲しいなどの願いや希望、夢」について寄せられた自由意見を、「ふるさと秋田元気創造プラン」に掲げる政策課題やこれからの秋田について、行政への要望を加えて整理・集計した。（集計は昨年度と同様の項目としている。）

項番	項 目	件数
A	商工業、貿易、新エネルギーの振興	54
B	観光の振興	66
C	農林水産業の振興	60
D	少子化対策（若者の雇用対策、結婚支援など）	308
E	保健・医療サービス	28
F	地域社会（協働社会）づくり	34
G	教育環境の整備	33
H	国際社会に向けた取組	4
I	環境保全活動の取組	1
J	自然環境の保全	12
K	交通基盤の整備	47
L	生活基盤の整備（上下水道の整備や災害の防止、雪対策等）	45
M	男女共同参画の推進	5
N	文化活動・スポーツの振興と環境整備（生涯学習を含む）	29
O	福祉サービスの充実（高齢者対策を含む）	49
P	犯罪や事故等のない安全・安心なまちづくり	8
Q	文化遺産・景観の保全	6
R	買い物や交通等の生活圏の機能維持	37
S	県のPR活動やイメージアップ戦略	48
T	その他	305
	合 計	1179

2 自由意見 ※1179 件のうち一部抜粋

A 商工業、貿易、新エネルギーの振興

- 安定した仕事、収入があれば、県外に出て行った友人も秋田に帰ってきたいと話しています。都市部との収入の格差が、少しでも縮まればと思います。交通の便や、娯楽施設が少ないなど、悪い面もありますが、それ以上に、秋田県人の人柄は魅力的なので、仕事さえ有れば、もっと活気のある地域になると思います。(女性/30 歳代/平鹿地域)
- 若い人たちが県内で働けるように企業誘致を推進してほしい。新しい産業の開発にも力をいれてほしい。人が留まれば、人口が減少しなくなり、子どもの数も増加していくものと思う。人が住みやすいまちにしてほしい。(女性/50 歳代/北秋田地域)
- 少子化により、秋田県の人口が減少し、このままでは財源も少なくなる。県内産業を育成し、県内就職者を多くし、県外流出を防止する施策が必要である。私は高齢者なのでこのままでも良いが、将来ある若者のため、県では産業の活性化を図る必要がある。(男性/70 歳以上/秋田地域)
- 秋田に根付く企業の誘致、魅力ある農業・漁業等の環境整備にもっと力を入れてほしい。全国学力等でトップレベルと、実を結んでいると思うので、その実が秋田で大きく花開くために。県民性として素朴・まじめ等は、いつまでもそうあってほしいと思う。(女性/50 歳代/秋田地域)
- 産業面では低空飛行と言わざるを得ず、建設業は公共事業頼みの部分が多いと思われませんが、企業進出によりメンテナンス工事等が創出されれば、全体の底上げが図られるものと考えられます。官民+学がバランス良く連携し、若年層が働ける職場が確保され、川反や山王も賑わう豊かな秋田であってほしいと切に願います。(男性/50 歳代/秋田地域)
- 新エネルギーの力、もしくは今ある風力、水力による地域の発展を向上させてほしい。(男性/20 歳代/山本地域)
- 人口が減っているとのことだが、介護を主な産業にする。施設、在宅どちらでも、満足できるようなシステムをつくる。税金を使いヘルパー等の給料を高くしても、人を集めればその人たちがまた税金を払う。人口も増える。(女性/50 歳代/平鹿地域)
- 秋田市は東北地方の日本海に接する唯一の県庁所在地として、東北地方における対岸貿易（中国・ロシア）の拠点、人流・産業の拠点となって欲しい。(男性/30 歳代/秋田地域)

B 観光の振興

- 大自然がたくさんあって、すばらしい所だと思うのですが、「もう一度、あるいは、毎年秋田に来たい!」と思えるようなポイントがいまいち薄い気がする。せっかくアイリス&アイリス2の撮影場所になったのに・・・とても残念です。観光・飲食店などのサービスをもっと質の高いものにして、たくさんの方が秋田に来てくれるような、優しく、明るい秋田になってほしいです。コンサート会場なども、規模の大きいものがあればいいなあ。(女性/50 歳代/秋田地域)
- プロスポーツと食や文化などを結びつける工夫をしてみてもいいのではないかと。ロシアとペットのやり取りだけでなく、お互いに抽選などによる希望者で観光ツアーのような人や食、文化の交流などもしてみたらいいのではないかと。(男性/40 歳代/秋田地域)
- 自然が多くあるのは秋田県の強みであると考えられるので、自然を学ぶための修学旅行や大学の研究をもっと受け入れたら観光も発展すると思う。(女性/20 歳代/雄勝地域)

- 観光地、温泉地、男鹿、十和田、田沢湖、秋の宮など、自然はすばらしいのに、ホテルや旅館などの閉鎖が続いております。観光客が以前と比較して非常に減っているように感じます。パンフレット等工夫をして製作、配布しているのは良くわかるのですが、もう一つPRの方法に工夫が必要に思います。(男性/60歳代/由利地域)
- デスティネーションキャンペーンでは比較的うまくいったと思うが、第三次産業で働く人たちのおもてなし精神が他県より見劣りがして残念。県内に訪れたお客様に、せめて明るく大きな声であいさつをしてほしい。(県南は良くなっていると思うが中央～県北はいまひとつ)(男性/50歳代/秋田地域)
- 秋田は観光資源にめぐまれているところだと思うので、もっとそれを売り込んでもらいたい。デスティネーションキャンペーンに参加した身ですが、若い人にもウケる観光施設なんかにも力を入れれば、長い目でみて、観光客が今以上に増えるのではと思う。秋田は広い分、移動に時間がかかるので、旅行者向けに公共のバス、電車以上にレンタカーの割引率をあげるなど、もっと観光で食べていく県をめざしてもいいのでは?と思う。(女性/30歳代/仙北地域)
- 観光事業に対しても外からの人が来る事があまりにも少ないと思われまます。春夏秋冬とこんなにはっきりした季節があるのに!!よその県に行ってみて見習ってきてもらいたい!!私は県外から来客者です。この市よりも田舎に育ったのですが、活気はこの市よりもたくさんあります。(女性/60歳代/由利地域)
- 秋田新幹線の開通で東京からの観光誘致(客)活動がさかんに行われていることは大変よいことだと思いますが、県外の友人たちに聞くと「子どもを連れて遊びに行く所ではない」との声をもらうこともあります。大人向けの観光地というイメージが強く、男鹿のなまはげ館、水族館はあっても、市内、または近隣には、子どもたちの喜ぶ施設がないのも現状です。大人も子どもも、リピーターとして秋田を楽しんでもらえるよう何かしらの施設なり、打ち出し方があるとよいなあと思います。(女性/40歳代/秋田地域)
- 他県と比べると、商店や道の駅等での客に対する対応が我が県は非常に悪いと感じる。接待がへただと思えば買い物する意欲が半減してしまう。もっと、我が県の良い物などの売り込みを考えてほしいと思います。(女性/50歳代/秋田地域)
- 秋田県は人口もどんどん減り、お店や企業もどんどん無くなり、年々さみしい街になっているように思います。けれど、都会や他県にとらわれず、秋田の豊かな自然やおいしい食べ物を残す事を大切にして欲しいと思います。そして、秋田県民一人一人が暖かい「おもてなし」の心で、観光客の方々や、帰省してくる家族にも接していけたら、秋田の本当の良さが伝わるのでは、と思います。(女性/50歳代/秋田地域)
- 秋田の女の人はきれいな人が多い・・・と東京の息子も話しますが、風土と環境によるもの。“美人”を題材にして特産物販売にもう少し力を入れてほしい。他県で行っているよいことをもう少し聞いて(アンケートを取るなど)はんえいしてほしい。(女性/50歳代/由利地域)

C 農林水産業の振興

- 中山間地域振興のため、全国一といわれる杉資源の活用を。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 一次産業の生産品物に付加価値をつける二次産業に発展させる工夫により、就業人口も増え結果的に人口増につながる施策を県が積極的に取り組むべきであると考えます。新潟県や山形県を参考にすべきであると思います。(男性/70歳以上/仙北地域)
- 秋田県は、農業が主要な産業だと思いますが、まだまだ、ブランド力のある商品が足りない、P

Rが足りない、と思います。ブランド力の高い商品を日本、世界に打ち出し、「秋田」という県を注目してもらうことで、その他の分野への関心にもつながると思います。(女性/20歳代/雄勝地域)

- やはり農業は重要!!若者の農業への就業支援があれば良いと思います。都会のマネをするのではなく、秋田県に合った対策を!!田舎くさが秋田らしいのでは?(女性/20歳代/秋田地域)
- 農地について。あまりに規制が複雑(田んぼの貸し借り等)。農家から一般の人がもっと簡単に借りられるようにしてほしい。農家が田んぼを貸すことが簡単に出来るようにしてほしい。(女性/60歳代/山本地域)
- 秋田県は、農業が衰退すれば、終わりです。雇用や新たな産業、企業誘致などは、ある程度まではできるかもしれませんが、都会に比べれば限界があります。農業は、生産者だけではなく、農業に携わる人の多くを支えていると考えます。そういう意味では、秋田の農業は他の農業県より、遅れを取っています。結局、各市町村まかせの農業政策ではなく、県がもっと積極的に農業に対して動くべきです。今は、ただ単に、国と現場を繋いでいるだけだと思います。農業だけではダメと言っても農業がどうしても中心になるのです。農業の復興を願います。(男性/20歳代/秋田地域)
- 秋田は農業県。自分も脱サラして農業をやりたいが、収入が不安。県側からの手厚いフォローがあればやってみたい。(男性/20歳代/仙北地域)
- 農業で生計がたてられる政策が充実されることを望みます。農作物の品種をしばって力を入れてほしい。(秋田県の特産はこれというものがないのでは?→青森県や山形県と比べて知名度が低いような。)若い人々が農業で生活できるようになれば秋田の自然をいかしたまま次世代に引き継げるといいと思います。あれもこれもよりも何かに特化されるような指導力を県に求めます。(女性/40歳代/秋田地域)
- 今年国際家族農業年とか。小規模・家族農業は、食料供給において重要な役割を果たしております。TPP参加は止めて、有機農業や産直運動を推進し、小規模・家族農業を中心とした地域に合った新しいモデルの構築を進めてほしい。(女性/60歳代/北秋田地域)

D 少子化対策(若者の雇用対策、結婚支援など)

- 若者が、定住するための仕事があり、あまり稲作にたよらないようになればよいと思います。また、独身者(男)のために、海外から、女性が、秋田に来てくれればと思う。県が中心となり子どもを増やし地域が明るくなればと思います。独身男性が多すぎる!!(男性/40歳代/鹿角地域)
- 秋田県は人口減が著しく、出産、結婚欄より死亡欄が3倍も多く記載されているのに驚かされません。若い人は地元に残りたいが就職先がないのです。若い人が元気に働く所があり安定した生活が出来れば人口流出は防ぐ事が出来ると思います。(女性/50歳代/由利地域)
- 若い人たちが定住するには、環境が悪すぎます。出生率が悪いとかの前に、若者が出て行き、また残っていたとしても、独身の人が多いので、子育て支援もいいのですがその前の段階の対策が必要だと思います。(女性/40歳代/平鹿地域)
- 若い人達が楽しめる場所が少なすぎるので、もう少し、若い人達が将来もずっと秋田で暮らしたいと思えるような環境づくり(就職etc)をお願いします。(女性/40歳代/秋田地域)
- 若い人の県外流出の防止。雇用の確立、基本賃金の値上げ、せめて全国平均に。エンターテイメント施設の充実。とにかく秋田市中心地を元気にしていきたい。秋田市や企業はもっと人を大事

に育てていかなければ、人口減少は止まらないと思う。(朝の通勤時に山王周辺を通っているおじさん方の表情が暗くてがっかりした。その表情見て通勤するのが苦痛。生き生きと仕事に取り組める環境づくりを目指したい。)(女性/30歳代/秋田地域)

- 人口減少の歯止めがきかなくなってきた秋田。とても危機感を感じます。男性の低所得化、女性の非正規雇用などが原因で、働きながら子どもを育てる事や、2人目3人目を産んで育てる事がむずかしい状況の方が多く見られます。不妊治療が手軽に出来たりするなど、たくさん子どもが秋田でのびのび育てられる環境づくりを抜本的にやらないと、人が今以上に減っていく気がします。さみしい!秋田!(女性/30歳代/秋田地域)
- 全国学力テスト等で、秋田の子ども達の基礎知識の高さは、すばらしいと感心いたしております。その人材が大人になっても、この地で充分生かせるよう考える事は出来ないでしょうか。ふる里を舞台として生きて行けたら秋田はどれ程すばらしい県になるでしょう。中央に流出する頭脳を留められる職場環境を今こそ考えるべきではないでしょうか。自然がすばらしい県であると自慢しても人材がいなければ急降下が目に見えます。(女性/70歳以上/北秋田地域)
- 不妊治療に対する制度をもっともっと高めて欲しいです。年に受けられる回数を増やすとか、助成金をもっと出していただきたいです。(女性/30歳代/仙北地域)
- 子どもを多く産んでも生活が楽にならない。3人目以降、もしくは4人目以降からでも他の県のように10万円とか一時金があれば、多く産む人も出てくると思います。保育所も、前は3人目以降、タダとかあったのにもう少し助成してほしいです。(女性/30歳代/秋田地域)
- 高齢化社会で高齢者への施設などの充実もわかるが、もっと若い世代、子育て世代への充実をお願いしたい。例えば、子どもの遊び場や、大型ショッピングモールなど。秋田に住んでまだ1年ちょっとだが、いままで住んだ4県(東京、神奈川、福島、秋田)の中では一番子どもに優しくない県と言わざるを得ない。人口減少も納得できる。冬場の子どもの遊び場も欲しい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 人口の自然増の望みは薄いと思われるので、県外からの移住者をもっと受け入れる雰囲気を作るべき。(女性/20歳代/雄勝地域)
- 若者が秋田で働き暮らせるように、子どもが増えないと40代以上の人への負担が大きくなってくるので、若者の定住、安心して子育てができる環境や保障を作してほしい。天災もわりと少ない住みやすい秋田が大好きなので、心豊かに暮せるように私たちもがんばっていきたいです。(女性/40歳代/秋田地域)
- 若者の結婚・出産への援助。今の若者は、結婚をしたいが金銭的に厳しく、なかなか結婚に踏み出せないでいます。少子高齢化対策にも繋がるので考えてほしい。(男性/20歳代/仙北地域)
- 若い女の子の仕事を増やしたほうが少子化対策につながると思います。(女性/70歳以上/由利地域)
- 子どもに対する制度をもう少しよくしていただけるとありがたい。他県のある町では、子どもの保険料も10,000円を切り、医療費も中学生まで無料だと聞いた。そういうところに住む人は2人目、3人目の出産を考え、現に1人っ子の家の方が少ないという。秋田県も人口減少、少子化が深刻になっているのでもう少し考えた方がいいと思う。(女性/20歳代/秋田地域)
- 県の人口が減少している、「2040問題」など話題になっているが、昨年の息子の就職活動を経験して、なるほどと思いました。短大や大学を卒業しても「Aターン就職」はかなわず、結局県外の会社に内定が決まり、親は泣く泣く見送りました。今では基礎から学ばせてもらっている研修期間を兼ねながら初任給を頂き、自らの生活の基盤を築いていこうとがんばっている事と思います。こういう思いをしているのは、うちだけではないと思います。これが県内で叶えられたら少しでも人口減少をくい止める事が出来るのに……。もっと積極的に企業を誘致し、活気があっ

て若者の住み良い市町村であってほしい事を願います。(女性/40歳代/秋田地域)

- 出会い、結婚の支援で、県が取り組んでいる催しの会費が少し高いのでは!もう少しハードルを下げて、誰でも参加出来るようにしてほしい。子育て支援にもっと力を入れるべきでは?県の学力は全国トップクラスなので、子どもを産める状況さえ整えば県は全国でも優秀な人材が育つと思われる。(男性/30歳代/秋田地域)
- 若い人の出会う機会があって、結婚に夢が持てる秋田にしてほしい。私のまわりの20~40代、あまり結婚に興味がない。秋田に残って仕事をしているという事は、親の事など、都会へ行けない事情もある。親も含めて結婚を考えるとなかなか難しいみたい。子どもを産んでからの育休・保育園の充実がないと育てられない。(女性/30歳代/平鹿地域)
- 高卒や若年者が秋田県内に定着するための環境に力を入れていることはよく見えております。しかし、親が高齢(80歳代)になり、身体が病弱になることを心配し、Aターンを考えている50歳代の者に対して、就職難のために秋田に帰れない人々がおりますので、是非この年代の男女が秋田県内で就職できる環境をつくってほしいと思います。(女性/70歳以上/由利地域)
- 時代と共に変わる育児。現代の親達は「情報」に頼りすぎです。親子の自然な「情操」を頼りに子育てに励んでほしい。(女性/70歳以上/秋田地域)
- 全国に先駆けて海外移民の受け入れ態勢を構築する等。(男性/60歳代/秋田地域)
- Aターンについて県外の人に対してアピールを。(男性/20歳代/秋田地域)
- 20~30年後、秋田の人口は現在の3分の2以下に減少することが危惧されている。自分が育った戦前から戦後にかけては貧しい時代だったが、それぞれの家庭には子どもが沢山いてにぎやかでした。今は少子化時代だが、せめて子どもが2~3人以上育てられる環境づくりが急務だ。(男性/70歳以上/仙北地域)
- 人口の減少問題が急務。50年・100年先を見据えた取組が必要。安心して子どもを産み、育てられる社会であって欲しい。(人口の減少は)財政難・労働力不足・医療サービスの質の低下、文化の衰退とあらゆることに通ずる。(男性/40歳代/秋田地域)
- 昨年の7月に秋田へ居住しました。当時妊娠8ヶ月でその後すぐ出産し、子育てすることになりました。そこで思ったことは、秋田市はとても子育てしやすい環境だということです。病院も多くあり、子育て中の親のための施設も充実していると思います。産後1ヶ月の助産士さんの自宅訪問など、とても温かいサービスがあり、うれしかったです。(女性/20歳代/秋田地域)
- たとえ県外に出て学んだとしても秋田県内に戻ってきて働ける魅力ある企業の誘致をしてもらいたい。(男性/40歳代/平鹿地域)
- 保育園の一時預りの充実をお願いしたいです。主婦はなかなか預かってもらえないので、ファミリーサポートもありますが、こちらも急にはお願いできないし個人宅ということもあり気を使うのでなるべく保育園でお願いしたいです。秋田県は子どもを産むまではとても手厚くクーポン等があり助かるのですが、0歳~2歳半までの子育て期間に頼れる所がなく子どもを作ることを考えてしまいます。乳児院も当日でも空きがあれば一時預り受入れ可能と書いてありますが、実際には1度も受け入れてもらったことがありません。近くに親や頼れる人がいない人は多いと思います。子育て支援をお願い致します。(女性/30歳代/秋田地域)
- 県外からも、住みやすい秋田と言うことで、空き家を提供するなどをして、人口を増やしていった方が良いのでは。子育てしやすい秋田と言うキャッチフレーズをうたい、仕事なども支援してあげる。(女性/60歳代/平鹿地域)
- 雇用創出(年収300万以上)、働く場所があれば、かなりの事が解決できる。(男性/40歳代/秋

田地域)

- 全国学力トップクラスであってもその子たちがどれだけ秋田に残って働いているのか、疑問です。自分の子どもも秋田では自分のしたい仕事が出来ないと東京で働いています。この子たちを受け入れる事ができる秋田であってほしいと思います。(女性/50歳代/秋田地域)
- 何でもいいので、住みやすい県にして欲しい!!このままでは若い人が県外に出て行ってしまい、大変になる!子どもを育てにくい!!お金がかかりすぎる。(医療費が、3歳まで無料だったのに、今は、1歳をすぎると無料ではなくなった)(男性/30歳代/秋田地域)
- 保育園卒業後も母親が働き続けられるよう学童保育をもっともっと充実してほしい。学校の空き教室を利用するなど、なるべく学校の近くにあるとお迎えに時間をとられなくて済み、家庭での時間に当てることができると思う。(男性/30歳代/秋田地域)
- 女性が働きやすく、子育てしやすい環境をもっとつくってほしい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 子どもを生み育てやすい環境が整ってほしい。賃金も低い中、共働きをしなければいけないが、小さな子どもがいると、職場の理解がないと、出産前のように働くことはむずかしいと思う。周りの女性達も出産を機に退職し、今までのキャリアを生かせずパートなどをしている人が多い。産休・育休制度の導入は形ばかりで、実際に働く人たちの理解や、制度の活用はまだまだ低いと感じる。少子化対策は雇用の場の整備が重要だと思う。(女性/30歳代/秋田地域)
- いくら子どもが優秀に育っても、就職する場、それも環境が整った、安定した収入を得られる企業でなければ、若者はより良い所を求め県外へ行くでしょう。少子・高齢化を防ぐには、働き盛りの若者をいかに秋田に定着させるか。これに尽きると思います。(男性/20歳代/仙北地域)

E 保健・医療サービス

- 出産後、仕事を辞めて、復帰する時になかなか仕事につく事が出来ません。病児医療をもっと充実させて欲しいです。今ある所では1日3人までと少ないので、利用が出来ません。もっと利用しやすくして欲しいです。(女性/40歳代/山本地域)
- 秋田市は医療・福祉が充実してきているが、県北・県南に県としての支援が必要。同じ病気をしていても適切な医療が受けられるかどうかで、その人の人生が左右される。特に脳卒中患者が多い秋田県なのに、地方への対策が不十分。そのため、秋田市の病院に転院する人がいる。しかし、そのような事ができるのも一部の人に限られるため、安心して県民が暮らすために、安心・安全な医療の提供ができる体制を県として取り込む必要があると思う。(女性/30歳代/秋田地域)
- 不妊治療の補助などは田舎の役場には行きにくく、使いにくいので、病院などでできればもっといいものになると思う。(男性/30歳代/秋田地域)
- 医療ツーリズムなどの取り組み(観光型人間ドック)。がんセンターなど日本の医療の中心となるようなものを設立。(女性/50歳代/由利地域)

F 地域社会(協働社会)づくり

- 私はもうすぐ85歳になり一人暮らしです。田舎で淋しい老齢なる自分は大きな家に住んでおります。日々健康に気をつけながらの生活ぶり。冬の雪が大変です。想像もつかぬ程の屋根の雪おろしに苦難の毎年(そんなときに福祉の方からの言葉が優しくかった。)その人その家族があると思うけど一人暮らしの生活をもっと考えて助け合ってほしいと望んでいます。(女性/70歳以上)

／平鹿地域)

- 地域内の結びつきが希薄になっている中、「お互い様」という風土ができればいいと思います。強いリーダーシップを持つ知事や市町村長のもとで一致団結できればと思います。自分も、何らかの形で、ふるさとを守る活動に参加したいと思います。次の世代に、希望あふれるふるさとを引き継ぎたい。(男性／40歳代／北秋田地域)
- 地域に「老人のたまり場(交流サロン)」があって、気軽にお茶飲みができ、昔とったきねづかで料理や漬物等郷土食の講師役等で活用してもらい、生き甲斐ある生活の場が欲しい。(女性／70歳以上／秋田地域)
- 高齢化日本一なので“日本一仕事を続けて稼ぐ高齢者”をめざす。「新たな産業」どうしても機械化がはかれない分野とか! 皆でワイワイできる作業とか!“日本一多趣味な秋田のとしょりんど”「老人のための一人一趣味運動」「発掘 秋田のスーパージィ・ババ」(男性／50歳代／山本地域)
- 秋田はのんびりとしたイメージがある。しかし、学力トップやスポーツの向上などいい事と思うが、外であそぶ子どもの少なさにおどろく。子どもが少ないという理由もあるが、子どもの生活にゆとりがないように感じられる。そのため、地域イベント等、参加率が低く、年々、盛り上がり欠ける。もっと活気ある秋田になるよう期待する。(女性／30歳代／秋田地域)

G 教育環境の整備

- 小・中学生の学力は伸びてきているが、高校生以上の学力を伸ばす施策や子どもたちのスポーツの発展(親に負担かかり過ぎ)に関する施策を充実させてほしい。(男性／70歳以上／秋田地域)
- 医師不足について、鹿角でも、市がサポートする医大への奨学金制度ができましたが、地域で育てる活動が充実していくと良いですね。(女性／40歳代／鹿角地域)
- ここ秋田にしかできない世界に誇れるものを!その為には子ども達への教育が1番大切だと思います。教科書の事を覚え込ませるのではなく「考える力」を育ませて頂きたいです。建物や物だけあってもそれを使いこなせる「人」がいなくては何も意味がありません。失礼ですが県立美術館のような無駄使いは止めましょうよ。そのようなお金があったら、これからの「未来」である子ども達の為にもっと教育に力を入れて頂きたいと思います。その場しのぎではなく100年後の秋田を見据えた県政をお願いいたします。(男性／30歳代／由利地域)
- 学力テストが上位にあることや、教養大が好評なことを生かして教育立県として、頑張っ欲しい。教養大の優秀な学生が、卒業後も秋田で力を発揮できるような場所であって欲しい。(男性／30歳代／秋田地域)
- せっかく“学力日本一の秋田”が定着してきたのに、大学で東京方面に行きそのまま就職し、秋田に戻って来ない子ども達の多いことが何とも残念です。日本中から来なくなる大学を作り、就職先も用意することが急務だと思います。(女性／50歳代／山本地域)

H 国際社会に向けた取組

- ロシアや東南アジアのパイプを太くしてほしい。(男性／20歳代／秋田地域)
- 県民意識の国際化の推進。国際教養大、ソウル便を秋田のために活用する。(男性／60歳代／秋田地域)

- 秋田ーソウル便運行停止（ソウル便必要なし）、他の路線を考えるべき。（男性／40 歳代／秋田地域）

I 環境保全活動の取組

- 特別にという事ではないのですが、街や、住んでいる町内などが、きれいであってほしい。中心部の道路のわきに、雑草などが生い茂っているのは、美観を損ねるといふ他に、秋田の美の意識を問われているように思われる。建物を作ったり、DCに力を入れるよりも、低い費用で実現できる施策ではないでしょうか。お仕事御苦労様です。（女性／50 歳代／秋田地域）

J 自然環境の保全

- 秋田は農工で成り立ってきた県なので無理に都市化するのではなく、自然豊かな立地を生かす。地に足のついた、心身共に暮しやすいまちづくりを望む。山と海、田畑の素晴らしさはかけがえない財産であると思います。（男性／40 歳代／秋田地域）

K 交通基盤の整備

- 東北六県中、一番東京へのアクセスが悪く費用が高く時間がかかる。青森よりも時間のかかる新幹線にはがっかりだ。依然として秋田は陸の孤島であると思います。何とかしてほしい。（男性／40 歳代／秋田地域）
- 高速のPAを利用し、その地域の特産物を売るなど、もっと活用できれば、働く人も増えると思う。PAがある所へミニインターを作ってもらいたい。（男性／70 歳以上／平鹿地域）
- 秋田は車社会なのに道路がせまく、道が悪い。バスも少ないので自転車などの利用が多いが、危険すぎるので、道の整備を優先して欲しい。住む人が便利な環境になれば田舎も人口増加につながるのでは。（女性／30 歳代／秋田地域）
- 国内外からの観光の誘客を考えた場合、交通機関のひとつである秋田新幹線の大曲駅でのスイッチバックをどうにかすべきではないでしょうか。何事にも中途半端な政策で終わらないよう期待しております。（女性／60 歳代／秋田地域）
- 観光振興では観光地内と接続道路が貧弱過ぎる。秋田新幹線をフル規格化する。（男性／70 歳以上／秋田地域）
- 道路表示をわかりやすく書いてほしい。観光地など。（女性／60 歳代／秋田地域）
- 高速道路網の未開通部早期開通、国道の拡幅・整備や秋田新幹線（秋田～盛岡間）の時間短縮などを急ぎ、人、物の交流を生かす。（男性／70 歳以上／秋田地域）

L 生活基盤の整備（上下水道の整備や災害の防止、雪対策等）

- 人口の集約化を進めて、コンパクトシティを実現して行政サービスの質の確保を図ってほしい。雇用の場があれば人口減少には歯止めがかかります。（男性／50 歳代／秋田地域）

- 秋田市の除雪は、去年よりもよくなった気がする。今年は雪が少なかったような感じだが、なんとかわだちが残らない、わだちを残さないようおねがいたい。他県から来たが、秋田は雪国、除雪はその分上手、というのを聞いていたが、少しがっかり。雪があっても住みやすい街はすごく魅力的。(女性/20歳代/秋田地域)
- 田舎は田舎らしく過ごせるよう、環境を整備し、不便なく安心して暮らせる地域づくりを推進していただきたい。(男性/60歳代/仙北地域)
- 秋田駅前周辺のバリアフリーを強化してほしい。子ども・老人が歩きにくい。人にやさしい街づくりを推進してほしい。(女性/40歳代/秋田地域)
- 近所では一人暮らしの高齢者が目立つようになってきました。屋根の雪下しや道路の住宅前の除雪には、手を借りなければいけません。それにはお金がかかります。少ない年金収入から痛い出費です。家の前の雪は、道路の除雪と同時に運んでほしい。今の最大の願いです。(女性/60歳代/平鹿地域)
- 高齢者家族にとって冬の雪下し、除雪が一番心配です。(女性/70歳以上/仙北地域)
- 大事な生活水がすごくまずいです。特に水道水が地域により差がはげしいので、なんとかしてほしいです。昔は秋田の水(水道水)はすごくおいしいと言われていたので、今は残念でなりません。なんとかしてほしいです。(女性/30歳代/平鹿地域)

M 男女共同参画の推進

- 面接をしても“女性だから・・・”と言われて不採用されてしまうのは問題じゃないですか?“女だから”や“男だから”っていうことじゃないと思うんですよね・・・。(女性/30歳代/由利地域)
- 夢や希望が持てるほど生活は楽ではないし、仕事も休みづらいことがほとんどです。家庭と仕事の両立を本当に実現してくれるならもっと企業に働きかけを徹底してやってほしい。「PTAや地域の行事で休むこと、家族の具合が悪くて休むこと」が会社にとって“悪”とされている現実をなんとかして下さい。(女性/30歳代/平鹿地域)

N 文化活動・スポーツの振興と環境整備(生涯学習を含む)

- 博物館や美術館など、素晴らしい建物があるのだから、展示物、展覧会等の企画にもっと趣向をこらしたものを持って来て、県外から「人」を誘致できるようにして欲しい。市街地に「なかいち」等の施設があっても全く有効活用されていない。大きなコンサートホールを最初から企画し作ってれば、一等地にいろいろなアーティストを呼んだコンサート、イベントを催すことができ、結果、県外から「人」を呼んでこれたのにと非常に残念。税金のムダ使いと思う。(女性/40歳代/秋田地域)
- 集客活動としてイベント会場を作ったり、スポーツ等の施設を作ったり、秋田も関東地区のように、活気ある地域にすれば、若い人も県外に行かないで残ると思う。若者の遊べる場所などもあったらいい。土地の有効活用をしたほうがいい。(女性/40歳代/秋田地域)
- スポーツだけでなく、芸術面などにも注目してほしい。若い作家に焦点を当て、活動支援を行っていくことで、アーティストの輩出につながっていくと思う。秋田がスポーツ県なのは分かるが・・・。(女性/20歳代/雄勝地域)

- 身近なところに、団体で利用する自治会館や青少年ホーム体育館があってよく利用されているが、ボケ防止に少人数でマーじゃんやお茶での会話等ができる場所として、空き家の開放・利用・活用等あったらと思う。(男性/70歳以上/秋田地域)

○ 福祉サービスの充実（高齢者対策を含む）

- 介護についてもっと考えて、施設・人材を増やし、介護福祉士として働いている人が、もっと働きやすくなる環境を作ってほしいほか、給料を上げてほしい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 高齢者県として、全国の見本、手本となるように立案し、実現してほしい。高齢者にやさしく、生活してもらうため、県独自に医療費、交通費、冬期の暖房費等を補助することで全国一の住みやすい（高齢者）県にし、全国から人を集めて県人口を増やす。中学校までの教育費、医療費を無料とする。(他県から人を集める手段)(男性/60歳代/秋田地域)
- 全国から秋田県に老人が集まる県になって欲しい。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 高齢化が進むと考えられる秋田県。平均年齢を下げるための努力も必要であるが、年をとった方が快適に暮らせる環境を整え、元気な老人県となるよう進めるのも方法ではないだろうか。老後は秋田に移住したいと思われる街づくりを希望。(女性/50歳代/秋田地域)
- 他県と比べると、福祉の面でも遅れていると感じます。車がなく、買い物にも行きづらい高齢者に、福祉タクシーがあれば便利だと思います。他県でやっている福祉タクシーは、通常の料金より安い。高齢者、障害者が優先で乗れます。車イスの方でも乗れるように、運転手が介助してくれます。一般の人でも乗れますが、通常のタクシー料金と同じでした。他県でよいと思う体制をぜひ秋田県でもとり入れてほしいです。(女性/30歳代/由利地域)
- 多くの施策が、県なのか市なのかわかりづらい。特に福祉行政は奥が深く、並べ立てた項目が完全に実施されれば、すべての人の幸福度は100%になるはず。また社会福祉協議会とも重複する施策が多いのはどうしたことか。双方のすみ分けがはっきりしない。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 年齢を重ねても、安心して暮らせるようになってほしい。医療、福祉サービスの充実、買い物、除雪、生きることに、不自由になってはいけない。若い人が、結婚、子育てに前向きになれるように。(男性/60歳代/秋田地域)

P 犯罪や事故等のない安全・安心なまちづくり

- 子どもが安心して暮らしていける社会であってほしいと願います。親の都合や虐待、ストーカー行為など、子どもを取り巻く環境が変化してきています。子どもが犠牲になるのは、もうたくさんだ。(女性/40歳代/秋田地域)
- 治安が良く、これからも安心して暮らしていける平和な環境を維持して欲しいです。(女性/30歳代/由利地域)
- 人口減少でも、住む人々が元気で暮らせる地域がよい。何よりも安全かつ、汚染のない環境を次世代に引き継ぐ事が重要だと思う。(男性/50歳代/平鹿地域)

Q 文化遺産・景観の保全

- 欧州等に見られる「農村環境」（緑、林、家並み）の景観にあこがれます。秋田の農村社会（景観）もそうできたら素晴らしいと思います。一番近いのは「大潟村」かな？（男性／60歳代／由利地域）
- 新しい物や文化を取り入れることも大切だと思いますが、今現在ある物と文化を大切にし、守って行くことで、1度、秋田を離れてしまった人々が戻ってくるきっかけになることもあるのではないかと個人的には考えています。少子化対策にもなると思います。（男性／30歳代／雄勝地域）
- 地域の行事（お祭り等）が少なくなっているのです、昔、行ったように子どもを含め、人が増えるような政策をしてほしい。県のイベントや市町村の行事を含め、県人の参加意識や周知が弱い気がする。（参加する人は参加するが、知らない人は存在自体を知らなかったり・・・）盛り上がるのは一部のエリアといったイベントが多い。田舎をもっとアピールするエリアが有ってもいいと思う。（男性／40歳代／平鹿地域）

R 買い物や交通等の生活圏の機能維持

- 秋田市に生活していれば買物や交通の便が非常に良いが『いなか』の集落や地方の都市では人口が減ったのに伴い、全てにおいて不便で生活できなくなった。老人対策を充実してほしい。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 秋田は車がないと生活できない。ガソリンが高い。維持費がかかる。公共交通機関の料金が高く、運行本数が少ない。賃金が安い。冬は暖房費が高いし、夏も温暖化にともないエアコンを使わざるを得ない。様々な税金が高い。（女性／20歳代／由利地域）
- 村落地域の住宅が点在しているので、行政サービスが行き届きやすいように、コンパクトに集落を集められないかと思う。（男性／50歳代／秋田地域）
- 山村地の為、地域内での買い物や医療、サービス等に不自由を感じています。魅力ある街づくりに期待したいのですが若者がいません。選挙カーも来ません。大変な危機感を抱いています。未だ携帯やテレビラジオの電波も不十分でつながりません。対策を考えてほしいです。（女性／50歳代／平鹿地域）
- 県内全地域において、バス、電車、タクシー等を同じように使いやすくしてほしい。（女性／50歳代／秋田地域）
- お年寄が楽に暮らせるように、病院、商店、住居がひとまとめになってる街をつくって高齢化社会対策へのモデル都市になってほしい。秋田は広いけど人が少ないからあちこちにインフラ整備してももったいない。いっそ高齢者地区とかつくったらいい。（女性／20歳代／北秋田地域）

S 県のPR活動やイメージアップ戦略

- 県政の取り組み・実績・広報等々は親切丁寧なあり方を。最近ネット環境の充実で、なんでもかんでもネット環境の活用を当然のことに押し付けている。本意識調査の11ページ目にも紹介できなかったものを「ウェブサイト」をご覧ください、とある。ネット・パソコンを持っていない県民はどうしたらいいのか？（私の隣家もその通り）（男性／60歳代／秋田地域）
- 根本的な問題として施策のプロセス、マインド、実績すべての段階において、アンケートで初め

て知るものが多いことが問題である。私自身、情報収集はかかさず行っているが、実際に行われていることを知らなかった。アンケートでは県民によっては単純なクレームだらけの文が届くと思うが、県の行政サービスの不透明さにも起因していると思う。(男性/20歳代/秋田地域)

- 秋田県民は、郷土の豊かな自然や資源を十分生かされていないことを認識していないのではないかと。悪環境で生活したことが無いと、今住んでいる自然環境の良さを実感できていないのではないかと。もっと自信を持って、他県の人にPRできるように意識改革することが必要である。希望や夢をもっともっとふくらませるために。(男性/60歳代/秋田地域)
- 自然豊かな秋田大好きです。もっともっと県外の方に秋田のよさを知ってもらいたい、知って多くの移住者が増えるといいです。秋田でも都会からの移住者を優遇する政策を増やしていけばいいと思います。秋田に来たい(帰りたい)人は沢山いると思います。(女性/20歳代/雄勝地域)
- もっと積極的に秋田をPRしてほしい。他県(たとえば熊本)に負けないキャラクターがほしい。スグッチよりも強いやつ。ネイガーぐらい。日本海側をもっと生かすような取組があれば良いと思う。(女性/60歳代/由利地域)
- 就職の為にも企業誘致等は絶対に必要だが、秋田の豊かな自然などをもっとPRしていく方がよいと思う。おしゃれなイメージを無理して都会の人達に売り込むよりも、田舎である事を前面に出し、日本の田舎の風景といえば秋田、疲れた時には秋田に行けばいいやされる、などの自然、田舎のイメージを全ての人が持つ位まで行けば逆に訪れたいくなる者もいるだろう。(男性/30歳代/秋田地域)
- 人を呼ぶのは施設のような箱モノではなく、定期的なイベントや、体験できるスポーツ、米づくりの秋田、酒づくりの秋田としての得意なものを上手にアピールするという一点だと思います。そういう地道な活動は有償ではなく有志をつのる形でもよいので、やればやる人は集まると思います。(小さい活動は点在しているので)(男性/30歳代/秋田地域)

T その他

- よそから来た人間は、「秋田の人はあたたかい」とか言われるが、結構、人間関係がさみしいとか、自分がよければいい、という人が増えていると思う。また、周りと違うことをすると、白い目で見られる傾向があり、新しいことをやりにくい所である。なので、人マネが多い。若い人や、新しいことを始めようとする人を評価でき、支えてあげられる環境になってほしい。(女性/30歳代/北秋田地域)
- 災害対策(地震)、子育ての充実、経済力の向上で生活しやすい秋田県になってほしい。(女性/60歳代/山本地域)
- 子ども達が遊ぶ場所がほしい。子育て支援もありがたいが、お年寄りの支援もあるといい。(知らないだけだったらすみません)働く場所がほしい。子どもがいる世帯、お年寄りがいる世帯は国?からお金が入るが、50代60代?私の母世代は、働く場所もない、年金ももらえない。(女性/30歳代/秋田地域)
- 消費税も上がり、生活にかかるお金がまた増えました。新しいエネルギーの導入で、お金のかからない平和なまちになってほしい。(女性/40歳代/仙北地域)
- 県都の(秋田市中通地区)街づくり・活性化のスピードアップ。(男性/60歳代/秋田地域)
- ワースト・ワンを1つでも減らす施策を。(男性/60歳代/鹿角地域)
- プータンのように県民の幸福度が高い県になってほしい。(女性/40歳代/仙北地域)

- 都市開発等にもっと民間企業が参入して、無意味な施設をこれ以上増やさないでほしい。役人たちで決めないで、県にお金がまわる方法をもっともっともっと考えて実行してほしい。そのために民間の商売を得意としている人たちの話をもっと受け入れてほしい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 秋田だからこそできることを実践してもらいたい。若者が、それをできるような環境にしてもらいたい。若者や30代くらいの人たちが、チャレンジする機会が増える秋田県になってもらいたい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 給料を上げてほしい。税金が高くて老後が心配です。秋田に人口を増やしてほしい。(他県に移住せず住み良い秋田に)(男性/50歳代/仙北地域)
- 20代、30代の若い人達との交流をはかり、もっと秋田全体を元気あるものにしてほしい。(女性/40歳代/秋田地域)
- 県民性として「秋田には何もない」と答える人が多いと思うが、うしろ向きの県民性を変える事が大切ではないか?子どもができると外出先が限定される気がして、外食などしにくい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 今の秋田県は若者がこのまま永住したいと思えるような街づくりを行っているようにはあまり思えないので、設備を作る時にはもっと魅力的な設備を作って欲しい。(現在は中途半端な気がする。年寄りにもやさしくない。) もっといろいろな意見を知るために、県はもっと県民の意見を聞くように動かないといけないと思う。例えば、これから秋田を支える若者が働いている会社(サークルなど)へ出向き、定期的に意見を聞く。(女性/30歳代/秋田地域)
- 仕事上2年間の滞在でしたが(住みましたが)住みやすかったです。開発しすぎず、今の状態に近い形で誰でも田舎に帰って来た!!と言う気持ちにさせてくれる県であってほしいです。(女性/40歳代/鹿角地域)
- 県民が県内で楽しめるような場所がほしい。莫大な費用がかかる中途半端な建築物をいくつもつくらないでほしい。つくるなら他にないようなものを思いきってつくってほしい。秋田は日本でも最先端の“いなか”なのだから、都会のマネは必要ないので、きれいな魅力ある、いなか町をつくってみては。(男性/50歳代/秋田地域)
- 「親しい人には打ち解けるが、見知らぬ人にはそっけない」、首都圏などのお店に入るといつも感じる接客の良さに比べ、秋田はおもてなしの心や言葉が足りないように感じる。お店だけではなく、公共の施設、役場関係の方々も、そっけない対応が多い。もっと大らかに「秋田は良い所です。是非おいで下さい。」の気持ちを県民全員が持つようにして行かないと、ますますさびれていくと思う。それにはまず直接他県の人との接触が多い前記の方々の意識を変えてもらいたい。(女性/60歳代/仙北地域)
- 県内企業の労働賃金をもう少し上げるような政策を立てて、市況、経済を活性化できるようにしてほしい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 高齢化は進むにつれ、福祉施設は増え、福祉サービスは更に良くなっていくと予想いたします。農業の発展を願い、企業の立地 誘致活動を強化し、今後育つ児童や生まれてくる子ども達が将来秋田で暮らせる環境づくり(未来への不安の解消)で人口減に歯止めをかけ、自然・文化・スポーツを含むすばらしい秋田になっていく未来を心から願い、協力したいと思います。(男性/40歳代/秋田地域)
- 全世代(特に若者)が「ここで暮らしたい!」と思えるような魅力ある秋田県であって欲しい。そのためにも、子ども達がこの先より良い未来を歩んでいけるよう、先を見据えた環境づくりをして欲しいし、してあげたい。(女性/30歳代/北秋田地域)

- 健康で安全に心おだやかに毎日過ごしていきたいです。行政に頼るばかりでなく自分や家族単位でもより良い秋田、地域になるように努力する事も必要だと思いました。将来子どもたちが秋田で仕事をし結婚できるような魅力的な場所であり続けなければいけない!と考えました。(女性／40歳代／秋田地域)
- 少子化は止められないのだから、今生きている人の幸福のために力をつくしてほしい。今いる皆が幸せならば、おのずと少子化がなくなると思う。下手にプレッシャーを若者だけにかけるのはよくないと思う。義務だけが生じて、夢や希望などにはたどりつかない。道路交通がひどすぎる。マナーをもって皆が安全に歩ける街にするために、広報などでもルールを話題にしてほしい。(女性／30歳代／秋田地域)
- 住環境～都会にある魅力ってなんだろうか。買い物についてはとりあえず都会で買える物は、秋田でも買える。そのうえで地域色の強い商店との共存を図る。街というのはクリーンなイメージだけでなく、あやしい雰囲気というのも必要。これが魅力の一部でもあると思う。良い子ちゃんばかりでなく、いろいろな人の声に耳を傾け街づくりをしてほしい。(男性／30歳代／雄勝地域)
- 市役所等（公共の場）での敬語の義務づけ。人を見て使いわけてもらいたい。役所等人材を有効活用してもらいたい。ヒマが目につく。公務員には秋田と日本を愛する人になって欲しい。このアンケートをネットで参加できるようにしてもらいたい。(デジタル化、紙のムダ、時間のロス)
(男性／20歳代／秋田地域)
- 賃金が安く、家計が苦しい。預金や将来への蓄えが出来ない。有給休暇の充実。人員の確保。働いているだけで、余暇がなく旅行もできない。保育士をしているが、昼休みなし。残業代金なし。毎日のように持ち帰り仕事がある。過重労働である。(女性／50歳代／雄勝地域)
- 他県にくらべて若者達の娯楽施設の少なさが目立ちます。自然だけでは不満に感じていると思いますので、娯楽産業を充実させてもらいたいと思います。(男性／40歳代／秋田地域)
- ワースト1位の項目が多すぎる。もう少し明るく元気になれる話題がほしい。(女性／50歳代／秋田地域)
- 私もやらないから、あなたもやるな・・・という長い間の秋田気質から抜け出せるよう、子どもの時から「自分なりに考えよう」という気持ちを持てるよう、教育することが必要。パソコンがなければ見られない発信方法はやめてほしい。(女性／60歳代／秋田地域)
- 娯楽施設が少ない。秋田は温泉などの自然が豊かなのはわかるが、若い世代にはあまり興味がないと思う。週末に遊べる所がないので、結果郊外のスーパーに行くしかなくなっている。アウトレットモールやI K E Aなどの大型店舗、東急ハンズなどができれば、雇用の創出にもつながるし、1日いてもあきない複合施設になるのではないだろうか。(男性／30歳代／仙北地域)
- ふるさと秋田元気創造プランの通りだと思います。目指す姿に近づけるよう、県民として今できることから一歩ずつ努力すべきと改めて考えさせられました。(女性／60歳代／秋田地域)
- 子育てサービスについて、中小企業に勤めていると休みもとりにづらい。会社の事業主が関心をもたない限り何も変わらない。事業主の説明会の義務付けなどしてほしい。(女性／50歳代／雄勝地域)
- スピード感を持って行政をやってもらいたい。(男性／60歳代／秋田地域)
- 秋田の駅前をもっと盛り上げないと人は来ない!イベント、ライブなど、“来たい”と思わせる人も呼べないし、人も来ない。学力も良いけど、高校に入ったらOK!ではないし、本当にやれる人、やる人、学力だけではない。行動力も必要だし。秋田からの流出も考えてほしい。(女性／50歳代／秋田地域)

- 世界遺産まではいかなくとも秋田県民として誇れるものをみつきたい。行きあたりばったりな、中途半端な政策が多い。先を見据えた行動をして欲しい。本当に県民、または市町村民が望んだものなのかが疑問に感じることが多い。(例) 箱物を造っても中身が乏しい。長続きしない。有識者を集めて時間を掛けて実現したものにしては、結果が残念。本人達は利用していないと思う。
(エリアなかいち) 秋田とは?もう一度県民一人一人にアンケート形式で配布し、情報を集めてみるのもいいと思う。(男性/20歳代/秋田地域)
- 自然豊かで魅力あふれる秋田であることは間違いなく、大好きな県ですが、一部分でも買い物する場であったり、若者が集えるような施設や遊べる場所であったり、半端なものでなくて“本物”があればいいと思います。企業も少なく、就職で都会に出る方が多いですが、“働く場”の問題だけでなく、若い方にとって魅力があるかどうかで、人口流出は防ぐことができるのでは・・・?と思います。今、何か手を打たないと、秋田から若者、いやその上の世代、がいなくなります・・・。
(女性/30歳代/秋田地域)

